



『建築とヴァイオリンのたまたま箱』によせて
～設立 40 周年記念講演会～

蝶が形づくられたアイアンの門を入ると、アプローチの随所にウサギのブロンズが、玄関ではリスや麒麟の彫刻がお出迎え。陽ざしを通してステンドグラスの色と光が子ども達を透過し、元気に遊ぶ声を包んでいます。

社会福祉法人つくし会は昭和 52 年(1977 年)8 月 23 日法人許可を取得し、昭和 53 年(1978 年)2 月 1 日つくし保育園を開園しました。市内では 21 番目に開園された保育園として、今年度創立 40 周年を迎えました。

以来、社会福祉法人つくし会は保育園の増改築、乳児棟ピーナッツ新設、教室のリノベーション、園庭整備等を実施し、開園当初定員 90 名のつくし保育園は現在 200 名を超える定員となり平成 28 年(2016 年)4 月から認定こども園“こどもえん つくし”として 40 年の時を刻み懐かしい園舎を残しつつ大勢の子どもが育っています。平成 24 年(2012 年)福山市神辺町道に“みちのうえ保育所”を開所し、社会福祉法人つくし会は 2 つの乳幼児保育・教育施設を運営、その傍ら地元大学での託児保育・福山駅北口宮地記念館ビルでは大学の先生方と学生、保育教諭によるコラボレーション子育て支援“ラーン&トーク”リトミック活動、高校生による保育体験等実施し、多くの保育・教育の場、子ども・学生・大人と沢山の出会いと交流の場を広げています。出会った多くの皆様、卒園児、保護者、関係者の方々に感謝の気持ちを込め、紙面をお借りし心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、社会福祉法人つくし会 40 年を記して計画しました『建築とヴァイオリンのたまたま箱』記念事業は数年前より準備を進めて参りました。

子ども達は多くの可能性を持ちながら“今を生きそして未来へその力を繋いでいます”未来を担う子供たちの健全な育成と環境のために、豊かさや幸せを実感できる地域社会へ変革していけるよう、保育・教育関係者、企業、地域、市民、みんなで手を携え、より良いものへ関心を寄せ、関わりあい、文化を伝えていくこと、そうした姿勢と知恵が私たち大人に問われていること、また我々大人の役割の大きさと大切さを痛感する 40 年でもありました。こうしたことを踏まえた上で、子ども達が生活する場を設計する、或いは子どもが元気に育ち、子どもを含め働く人の心をのびやかに育む居場所を創造する等、設計士・建築家の役割りや、それに係る様々な人たちが繋がり学んでいくことは極めて重要であると思います。そして、音楽に与えられる喜びと感動は、どんな時代でも、どんなに年齢、文化的背景が違って、共有できるものと信じています。

この記念講演会が文化的な活動のエネルギーとなること、全ては子ども達への健やかな育成の力となっていけるようにと願ってやみません。

ご支援を頂きました福山市、福山市社会福祉協議会、関係団体の皆様に熱く御礼申し上げますとともに、ご理解ご協力頂く全ての皆様に心よりお礼申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人つくし会
理事長 甲斐 弘美

